

2016母の日全国一斉!!
100のありがとう風呂

日本を今よりちよっただけ温かく



100のありがとう風呂とは

お風呂から、日本をちょっとだけあたたかくするイベントです。



世界遺産 熊野古道の森から伐り出された小径木を輪切りにしたメッセージウッド、入浴木(にゅうよくぼく)に感謝の言葉を記入し、湯船に浮かべる。メッセージを書くのはお客様や、近隣の小学校や中学校などの学生。あとは大学のサークルなど、たくさんの方々に参画していただくことで、たくさんの新規客を獲得することに繋がります。

通常は、99枚浮かべ、残りの1枚は入浴いただいたお客様の気持ちをもってして100のありがとう風呂は完成する。という組み立てですが、これにこだわらず、数百枚またはそれ以上のメッセージを集め、来店機会を創出している施設様も少なくありません。

母の日や敬老の日には、毎年全国一斉イベントとして100件を超える参加店舗で開催されることもあります。

メディアが思わず取り上げたくなるイベントです



「100のありがとう風呂」はこれまで新聞・雑誌やテレビ、ラジオ等で多数継続して取り上げられています。その数はすでに数えきれないものになっておりますが、いくつものシーンでメディアへの取材機会を提供しています。

当日、メッセージを書いているところなど、ご参加いただいた1つの店舗様で、5件以上の取材を頂くことや、全国放送のメディアが入ることも少なくありません。本企画では、メディア向けのプレスリリース・POPなどもご用意させて頂いております。

100のありがとう風呂は、
ヒノキの香りとメッセージで伝える感謝の企画。
心もちよっとあったかく。湯船で感動が生まれる、
そんな瞬間がそこにはあります。



ありがとう風呂 入浴木

3cm×φ9cm おわせヒノキ間伐材／銘木おわせヒノキ
の間伐材を活用した入浴木。国産ヒノキの中でも最高
といわれる香りはもちろん、メッセージを書き込んで湯船
に浮かべることで、参加型に。視覚的効果を演出。

開催期間 5/7－5/15
参加施設によって変更可能です
エントリー期間 3/18－4/20



ありがとう風呂 入浴木（にゅうよくぼく）
3cm×φ9cm おわせヒノキ間伐材



100のありがとう風呂 概要

- 【主 催】 株式会社熊野古道おわせ(夢古道の湯)
- 【開催期間】 2016年5月7日(土)～5月15日(日)
※母の日は**5月8日**。各店舗で開催日は調整可能です。
- 【参加条件】
- ・本企画の趣旨にご賛同して頂けること
 - ・温浴施設様、及び旅館・ホテル等大浴場を持つ施設
 - ・銭湯
- 【スケジュール】
- 3月18日(金) 参加店舗募集開始
 - 4月20日(水) 受付締切
 - 4月6日(水) 入浴木発送開始
 - 5月7日(木) イベント開始(期間)
- 【特 典】
- ・全国一斉100のありがとう風呂店内POP・ポスター
- ※プレスリリースのサンプルや100のありがとう風呂ストーリーDVD(YOUTUBEにもアップされています)等、必要な施設様は別途お問い合わせください。
-

企画の流れと進め方の一例

ステップ1

①入浴木にメッセージを書いて頂く

※メッセージは「お客様」に書いて頂くことが重要です。

例)・館内にメッセージを書き込むスペースを設置する。

・近隣の「学童保育」「大学生サークル」などに協力して頂く。
常連様やスタッフが記入するケースもあります。

ステップ2

②メッセージを書いてもらったお子さんを、一人ずつ写真撮影。

③イベント開催期間、館内に写真を飾ります。

④メッセージを書いてくれた子供には、**無料券を配布**します。小学校低学年
なので、基本的に一人では来ません。必ず親子での来店となります。

⑤イベント終了後、メッセージを書いた入浴木を子供たちに返却。

◆成功のポイント

「母の日」は、新聞が必ず掲載する時事ネタです。

子供の純粋な気持ちを表現することで施設そのもののイメージアップが
期待できます。

ステップ3

⑥物販部門との連携

休憩スペースなどに何も書いていない**入浴木の販売、
記入スペースを設置**します。これはイベント2週間ほど
前から設置し、イベントの告知もかねて行います。



あくまでも一例です。
メッセージの集め方は幾つかあります。





100のありがとう風呂が生んだ感動エピソード

それは父の日に開催した100のありがとう風呂でのお話です。

いつも親子2人でご来館頂くお父さんと、5歳の男の子。仕事が忙しく、あまり遊んでやれないので…と、2週間に一度は男同士でお風呂に行こうと、お2人ともが楽しみにやってくられます。

たまたまいらっしゃったその日は、父の日のありがとう風呂の開催日でした。何も知らず、いつものようにお風呂に入っていられる親子。お風呂から出てこられたお父さんから、支配人に頂いた言葉です。

**「私、お風呂で泣いてしまいました。
こんなに嬉しかったのは久しぶりです！ありがとう」**

お風呂に浮かぶ、99枚のありがとうが書かれた入浴木に感動されたのではありませんでした。

「たくさんのメッセージを読んでいて、いいな～って思ってたんですよ。そしたらうちの子が、2枚のメッセージを私のところに持ってきて。『はい！』って。『**おとうさんありがとう**』と『**おしごとがんばって**』って書いてました。でね、『お父さん、いつもお風呂連れてきてくれてありがとう』っていうんですよ。泣いちゃいました。ほんとに素敵な企画ですね！ありがとう」

湯船に浮かぶ99枚の入浴木と、大切な人に伝える1つのありがとう。

100のありがとう風呂は、こんなエピソードがたくさん生まれる、そんな企画です。

お風呂から日本をちょっとあったかくする。

100のありがとう風呂はお風呂屋さんだからこそできる心のこもったイベントです。

「母の日」にたくさんの温浴施設で、こんな風景を生み出すことができれば、日本はちょっとあったかい気持ちになるかもしれません。これまで全国400を超える施設様にご参画頂いた「ありがとう」のツナガリを、さらに多くのお店に参画いただき、社会現象としていきたいと考えております。